

平成 27 年 度

事業 報告 書

公益財団法人千葉市保健医療事業団

I 平成27年度事業概要

第1 事業活動の概要

地域住民の健康増進と地域医療の発展への寄与を基本目標に、千葉市の施策と市民ニーズを踏まえ、千葉市休日救急診療所の指定管理者として市民サービスの向上・経営の効率化を推し進めるとともに、救急医療確保対策等事業、看護師養成事業、健康づくり推進事業を実施した。

また、千葉市から総合保健医療センターの施設管理事業を受託した。

第2 事業内容

1 公益目的事業

(1) 千葉市休日救急診療所管理運営事業（指定管理事業）

千葉市医師会、千葉市歯科医師会、千葉市薬剤師会の協力のもと、救急患者を対象に、日曜日、祝日及び年末年始の昼間における初期診療を実施した。

また、ねたきり老人・心身障害者（児）の歯科診療を、原則として毎週木曜日に予約制により実施したほか、災害時における医薬品等の備蓄事業を実施した。

ア 休日救急診療実績

(ア) 診療科目別患者状況（診療日数 72日）

（単位：人）

区 分	内科	小児科	外科	整形外科	眼科	耳 鼻 いんこう科	歯科	合計	処方せん 枚 数
患者総数	5,872	6,029	1,777	2,742	1,288	2,602	866	21,176	16,676
1日平均	81.6	83.7	24.7	38.1	17.9	36.1	12.0	294.1	231.6
割合(%)	27.7	28.5	8.4	12.9	6.1	12.3	4.1	100	

(イ) 居住地別患者状況

（単位：人）

区 分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑 区	美浜区	市 外	合 計
患者総数	4,760	2,400	3,494	2,668	1,863	3,237	2,754	21,176
1日平均	66.1	33.3	48.5	37.1	25.9	45.0	38.3	294.1
割合(%)	22.5	11.3	16.5	12.6	8.8	15.3	13.0	100

イ ねたきり老人・心身障害者（児）歯科診療実績

(ア) 対象別患者状況（診療日数 43日）

（単位：人）

区 分	ねたきり老人			心身障害者（児）			合 計
	男	女	計	男	女	計	
患者総数	118	124	242	290	140	430	672
1日平均	2.7	2.9	5.6	6.7	3.3	10.0	15.6

(イ) 居住地別患者状況

(単位：人)

区 分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑 区	美浜区	合 計
ねたきり老人	62	60	27	39	13	41	242
心身障害者（児）	78	53	66	92	84	57	430
計	140	113	93	131	97	98	672
割 合（％）	20.8	16.8	13.9	19.5	14.4	14.6	100

ウ 調剤業務

休日救急診療及び寝たきり老人・心身障害者（児）歯科診療に伴う調剤業務を実施した。

エ 災害時医薬品等備蓄事業

千葉市地域防災計画に基づき、災害発生時における医療救護活動が迅速かつ円滑に行えるよう、地域の一拠点として医薬品・診療材料等の備蓄管理を行った。

(2) 救急医療確保対策事業（受託事業）

千葉市からの委託を受け、在宅による産婦人科当番医の確保、テレホンサービスによる診療案内及び休日や夜間等の救急患者に対応するための救急医療機関の確保を行った。

ア 産婦人科在宅当番医制

市内の産婦人科 28 医療機関の輪番により、72 日間の診療日数を確保した。

（受診患者数 329人、1日当たり 4.5人）

イ テレホンサービス

区 分	電話番号	案内日数	案内総件数	1日平均件数
千葉市休日救急診療所	(244) 5353	72	7,263	100.9
産婦人科休日緊急当番医	(244) 0202	72	707	9.8
夜間外科系当番医療機関	(244) 8080	366	4,539	12.4

ウ 二次救急医療機関確保（病院群輪番制）

市内の病院の協力を得て、休日等及び毎夜間の二次医療機関を確保した。

(単位：施設)

区 分		内 科	小児科	外 科	整形外科	産婦人科	産 科
休日の二次救急医療機関	協力病院数	19	7	11	9	3	
	待機病院数	2	2	1	1	1	
夜間の二次救急医療機関	協力病院数	17	4				3
	待機病院数	2	1				1

エ 年末年始初期診療医療機関確保

12施設の協力を得て、年末年始における内科の急病患者に対する初期診療の充実を図った。

オ 夜間外科系救急医療機関確保

夜間の急なケガや病気などの患者に対応するため、市内19医療機関の輪番により毎夜間・1 医療機関が午後 6 時から翌朝午前 6 時まで診療に当たっている。

また、処置困難な患者等の受入については、両市立病院をはじめ後方支援の確保を図り対応している。（受診患者数 11,882人）

患者数実績

(単位：人、日)

区 分	初期医療機関	後方支援病院 両市立病院及び みつわ台総合病院	非当番協力 医療機関	三次医療機関	合 計
患 者 数	7,028	837	3,463	554	11,882
待機日数	366	377	366	366	—
1日平均	19.2	2.2	9.4	1.5	—

※初期医療機関が後方支援を同日に行った場合、初期医療機関に患者数を含めている。

(3) 看護師養成事業（自主事業）

平成28年3月に第1看護学科及び第2看護学科併せて70人が卒業。

第105回看護師国家試験に卒業生70人が受験し、70人全員が合格した。

市内就職率は第1看護学科が94.5%、第2看護学科が29.4%であった。

ア 卒業生数

学科名	入学時 学生数	単位未修得者		卒 業 生		
		退学者	留年者	現 役	留年者	合 計
第1看護学科	40人	1人	3人	36人	0人	36人
第2看護学科	31人	0人	0人	31人	3人	34人

イ 国家試験（新卒者）

第1看護学科			第2看護学科			全国平均	
受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	合格率	うち新卒者
36人	36人	100%	34人	34人	100%	89.4%	94.9%

ウ 進路状況

学科名	卒業 者		市 内		市 外		その他	県内計 (再掲)
			市立病院	他の医療 機関	県内	県外		
第1看護 学科	36人	人数	28人	6人	2人	0人	0人	36人
		割合	77.8%	16.7%	5.5%	0%	0%	100%
		人数	34人		2人			
		割合	94.5%		5.5%			
第2看護 学科	34人	人数	6人	4人	17人	6人	1人	27人
		割合	17.6%	11.8%	50.0%	17.7%	2.9%	79.4%
		人数	10人		23人			
		割合	29.4%		67.7%			

エ 入学試験

学 科		試 験 日	定員	応募者数	倍率	受験者数	合格者数	倍率
第1看護学科	指定校推薦	平成27年10月24日	10人程度	8人	0.8倍	8人	8人	1.0倍
	公募推薦	平成27年10月24日	10人程度	28人	2.8倍	28人	16人	1.75倍
	一般	平成28年 1月23日	20人程度	89人	4.45倍	61人	20人	3.05倍

(4) 健康づくり推進事業（自主事業）

健康づくりの推進・普及啓発として、また、千葉市の「健康づくり週間」の一環として、平成27年10月17日に、健やか未来都市ちばプラン推進協議会、千葉市及び当事業団の共催により、「健やか未来都市をめざして 予防と早期発見でがんに克つ」をテーマに健康フェアを行った。

ア 健康フェア

“きぼーる”において、健康づくりに関する各種相談や指導・展示を主とするイベントを開催した。

《参加団体》 26団体

《入場者数》 2,300人（延7,110人）

《内 容》 ①健康相談 歯、薬、栄養、放射線、心の悩みや育児などの相談、女性の健康相談、ムシ・ムシ相談
 ②病気の予防 禁煙指導、体脂肪測定、血圧測定、生活習慣病、血管年齢測定、健口体操、骨密度測定（事前予約）、口臭測定
 ③食生活 食生活に関する指導、パネル展示、家庭内の食品衛生、包丁の基本技術指導、親子料理教室（事前予約）
 ④健康増進 健康づくり大会ウォーク、がん予防1日5分の健康体操、家族みんなでツボ押し健康法、あなたの歩行年齢は？

(5) 救急医療知識の普及啓発事業（自主事業）

救急医療普及啓発用パンフレット（急病になったときのために）を作成し、千葉市各区消防署が9月に開催する救急フェアにおいて来場者に1,000部配布した。

(6) 訪問歯科診療事業（受託事業）

歯科診療の機会に恵まれない、ねたきり老人等の歯科診療を実施した。

予 診 者 数	訪問診療終了者数	協力医訪問延べ回数
27人	27人	51回

2 収益事業等

(1) 千葉県総合保健医療センター管理事業（受託事業）

千葉市から委託を受け、保健所、環境保健研究所、環境情報センター及び休日救急診療所等の複合施設である千葉県総合保健医療センターの施設管理を実施した。

本センターについては、一般市民や休日救急診療所の患者等、多数の者が来所する施設であることから、来所者の利便性や衛生面の向上を図るため、南側及び西側トイレの一部を洗浄機能付き便座へ改修した。

また、昨年度に引き続き館内の節電を実施するなど、経費の削減に努めた。

附 属 明 細 書

平成２７年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第３４条」に規定する附属明細書「事業報告書の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。